

巨 大津波から児童や教職
員ら90人の命を守り抜いた
小学校を、可能な限り被災当
時のまま保存・整備し、防災教
育・震災伝承の場として一般公開
しています。1階では津波が通
り抜けた痕跡や壊れた備品、流
れ込んだ流木などの状況から
津波被害の甚大さを知ること
ができ、2階では震災前の町並
みを再現したジオラマ模型や震
災時の証言映像などの展示物
から防災対策や避難行動を考
えることができます。屋上から
避難した人たちが一晩過ごした
倉庫に実際に入ることができ、
震災当日の出来事を肌で感じ、
自分ごととして捉えられます。
館内には町職員が常駐して
おり、2階や屋上では説明を受
けながら回れるほか、語り部ガ
イドの解説のもと見学も可能
(有料、要予約)。【考えるワーク
ブック】(1冊1000円)は、見学
の前後に活用できるよう編集さ
れています。見学後の防災学習
にも役立てましょう。



児童や教職員、地域住民が、頻発する余震と厳しい寒さに耐えながら一夜を過ごした屋根裏倉庫。奇跡的に流されなかった毛布で寒さをしのぎ、余震のたびに「大丈夫」とお互いに声をかけ、励まし合った



1階にある多目的ホール。やまもと語りべの会による語り部ガイド(所要45分～、語り部1人5000円※要予約、語り部1人につき20人まで対応可)が語る震災当時の状況などから、災害への備えと教訓を学べる



2階の展示室では、思い出とともに住民によって制作された、震災前の中浜小学校周辺地区のジオラマ模型を見ることができる。施設の敷地全体の模型もあり、中浜小に施されたさまざまな津波対策を学べる

考えてみよう

Q1 津波などの有事に備え、中浜小学校の校舎外壁には、外階段がついています。なぜ校舎の外に階段があるのでしょうか？

Q2 扉や枠が幸いにも流れず、残っている職員玄関。本来、扉は外開きののですが、現在は内側に開いています。どうしてでしょうか？

A1 夜間や休日など、時間外に起きた災害でも地域住民が2階まで避難できるように設置された。
A2 津波の通り道となり、引き波の影響から内側に開いてしまった。押し波だけではなく、引き波の威力を感じとれる。

●やまもとちょう
山元町

●やまもとちょうしんせいこう なかはましようがっこう
山元町震災遺構 中浜小学校

あの日の状況に実際に立って考えてみよう

山元町の被害状況

最大震度	6強
浸水面積	24km ²
最大浸水深	13.52m
全壊	2,217棟
半壊	1,085棟
一部損壊	1,138棟
死者	637人
行方不明者	
負傷者	90人

注①

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

震災遺構

施設ガイド 語り部あり
※要予約

施設DATA

●やまもとちょうしんせいこう なかはましようがっこう
山元町震災遺構 中浜小学校

☎0223-23-1171 MAP P116E1

①山元町坂元字久根22-2
②常磐自動車道山元南スマートICから車で10分
③9時30分～16時30分(最終入館は16時)
④月曜(祝日の場合は翌日)
⑤400円、高校生300円、小・中学生200円 ※特別開館日(3/11山元町鎮魂の日、9/1防災の日、11/5世界津波の日)は入場無料
⑥あり(大型バス:あり)

注①出典:東日本大震災および津波の被害状況、2019年10月25日、山元町ホームページ(<https://www.town.yamamoto.miyagi.jp/site/fukkou/324.html>)